



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

令和 5年 12月 11日

岡山市長 大森 雅夫 様

とくていひ え いりかつどうほうじんじょうとうだい

ごじょかい

団体名 特定非営利活動法人 城東台みんなの互助会

所在地

連絡先

代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	地域で支え合う仕組みづくり
事業実施小学校区・地区	城東台学区と近隣地区
事業実施回数	新規・継続 4回目 / 【令和3年度から】
課題	- 城東台学区では80歳以上の高齢者が既に270人を超え、今後、高齢者夫婦のみの世帯や単身高齢者の増加が見込まれている。 2019年度、各町内会と当NPO法人が共催でおこなったアンケート調査では、近隣による家事援助、安否確認、避難支援など、平時と非常時双方での支援を希望する世帯が相当数に上るとともに、「今は大丈夫だけれど」との記述も多くあり、将来不安が垣間見える結果が示されたことから、今後もニーズに合致する『地域で支え合う仕組み』が機能し続けることが、住みやすい・住み続けられる地域には欠かせない。 - 一方で、当該地域では、相談や支え合いの前提となる信頼関係の醸成が十分ではないと思われることから、『顔の見える関係』をどう構築するかも課題に位置付ける。
事業の目的	- 家事・生活支援事業や相談事業をはじめとする、『安心して住み続けることのできる地域』に必要なコンテンツを提供すること。 - また、地域における互助を推進する人材を育成すること。

事業の内容	1)家事・生活支援事業 ①名称 ・城東台ご近助くらぶ ②互助により、家事・生活支援事業を行うに当たり、以下の態勢づくりを継続する。 ・サポーター(ボランティアスタッフ)の養成と募集 ・運営を担うコーディネーターの養成 ③互助により、以下の家事・生活支援事業を行う ・訪問等による家事・生活支援事業(原則、高齢者のみの世帯を対象とする) ➤ 屋内での家事等支援 (一例)家具の移動、ゴミ出し、掃除、電球交換等 ➤ 屋外(庭先)や外出の家事等支援 (一例)草取り、庭木の枝払い、水遣り、外出の付き添い等 2)交流促進事業(顔見知り事業) ①いきいきセミナーの継続開催 地域で活動している文化(趣味の会)・スポーツ団体や地域の企業から講師を招き、より身近で楽しく、また新たなご縁が生まれるセミナーを開催する。
期待される成果・目標	➤ 高齢世帯の孤立の解消 ➤ 住民のQOLの向上 学区における互助力の向上
企画などの工夫	➤ 各町内会並びに学区内の各種団体と連携し、多様なボランティア人材の確保に努める。 ➤ 草刈り等の機材については、各町内会等から借用し、作業を行う。 ➤ 運搬に必要な軽トラについては、町内会等が調達し、廉価で借用。 ➤ 訪問等による家事・生活支援事業は、2名以上の派遣(外出を伴う場合は除く)を基本とし、無料では却って頼みづらいことから原則、1時間ワンコイン(500円)の利用料金を設定。 金銭の授受を簡素化するため、利用料金は謝礼としてボランティアスタッフが受け取る。

協働する団体等	1.主たる活動を担う組織＝「NPO法人城東台みんなの互助会」 2.協働する団体 (自治会) 城東台西町内会、城東台東町内会、城東台南町内会、城東台学区連合町内会 3.協働を予定している団体 (協力)城東台学区安全・安心ネットワーク、城東台学区社会福祉協議会、 みちくさ会、城東台さつき会、民生委員会 各種文化団体(趣味の会)等
事業の情報公開	➤ これまでの活動ノウハウを基に、ご近助くらぶの案内第二弾を作成し配布する。 ➤ 学区内の世帯に城東台ご近助くらぶ NEWS(2回／年)を全戸配布にて行う。 ➤ SNS等の活用も検討する。
学区地区への広がり	➤ これまで、学区内での課題解決手法(アンケート調査)に則って課題形成を行ってきた経緯の上で、学区内関係団体と検討を重ね、事業化を模索してきたことから、既に大勢として学区内でのコンセンサスを得ている。 ➤ 今後、活動の過程で支援メニューの多様化(広がり)や、各団体、また学区外の近隣地域とのつながりの強化を目指す。
前年度からの見直し拡充点	➤ ご近助クラブ、いきいきセミナーについて、近接する学区・地区などにもお知らせ・情報提供を行い更なる周知に取り組む。
次年度以降の予定	①次年度以後の活動計画 継続事業として、利用を増やしていきたい。 ②資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☒ (1～3)年後の状況は、現時点では見通せない。 【資金確保の具体的な方策】 今後の検討課題とする。

その他PRしたい点	
-----------	--

事業スケジュール（企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

月日	活動内容
4月	総会開催(新年度開始)
5月	ご近助くらぶ改訂版 印刷配布
6月	セミナー開催
7月	セミナー開催
8月	ご近助くらぶNEWS-Vol.5各戸配布
9月	セミナー開催
10月	セミナー開催
11月	セミナー開催
12月	セミナー開催、令和5年度区づくり推進事業申請
1月	セミナー開催、ご近助くらぶNEWS-Vol.6各戸配布
2月	セミナー開催、(事業経過の取りまとめと、次年度の事業検討及び方針決定)
3月	セミナー開催、(総会準備)

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	67,000	82,000	
実施団体負担金	88,000	82,000	
参加者負担金			
協賛金			
寄附金、他収入			
収入合計	155,000	164,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	33,000	35,000	セミナー用材料費等、事務用品
②食糧費	3,000	4,000	ペットボトルお茶代
③印刷製本費	25,000	31,000	事業告知、各戸配布・回覧等
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	31,000	31,000	ワイモバ代
⑦広告料			
⑧手数料	6,000	6,000	振込手数料
⑨使用料・賃借料	50,000	50,000	事務所賃借料、会場使用料等
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	7,000	7,000	保険料
⑮旅費			
小計(①)	155,000	164,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費			
小計(②)	0	0	
支出合計(①+②)	155,000	164,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ 希望しない
----------------	--------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。